

ネットパトロールだより

平成23年3月28日

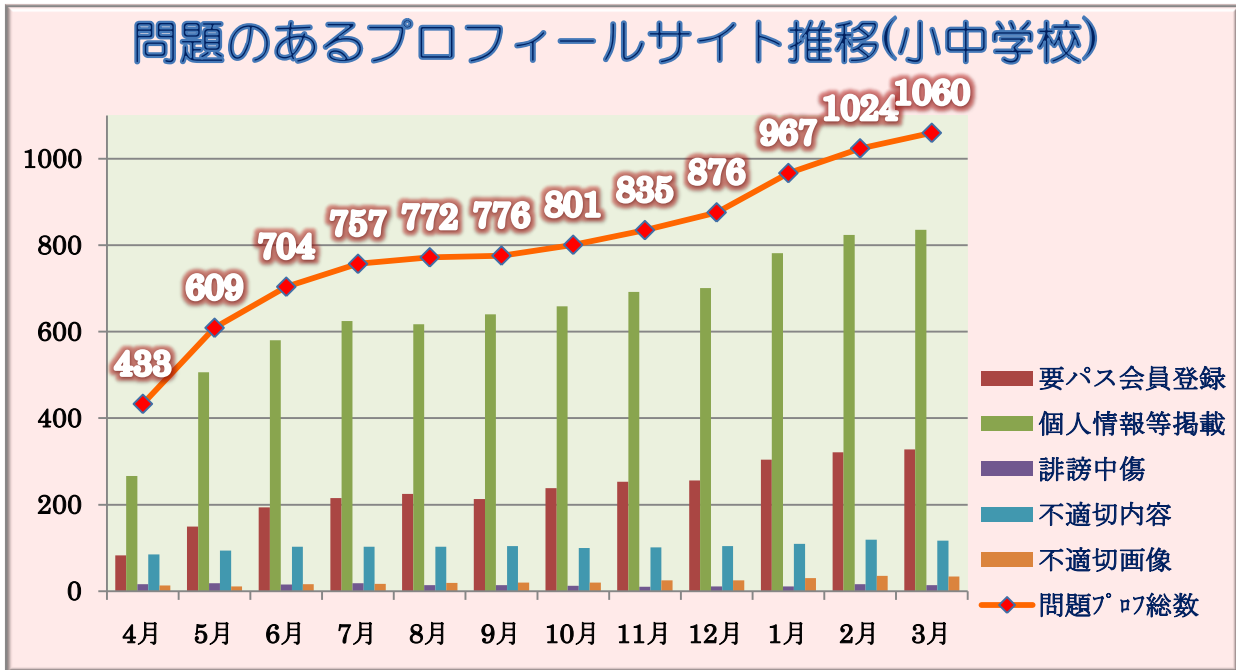
相模原市立総合学習センター

<学習情報班>



今年度のネットパトロールを振り返る

～増加し続けたプロフサイト 1060件に達する～



総合学習センターで行っているネットパトロールにより確認された3月10日現在の相模原市内小・中学校における『問題のある個人のプロフィールサイト』（上図赤折れ線グラフ）は1060サイトとなりました。昨年度の同時期と比べますと、2倍以上の数となっています。

この1年間を振り返ると、サイト数は月ごとに増加し続けました。特に1学期当初と3学期には大きな増加が見られました。

サイト数とともに個人情報等掲載の件数（上図緑色棒グラフ）も同じように増え、800サイト以上となりました。一部の者は一人で複数のサイトを立ち上げています。

また利用されているサイトは「前略プロフィール」などの自己紹介サイトが約7割、「グリー」「モバゲー」などのゲームサイトが約3割を占めています。



これらのサイトには右画像のように、本人も含めた仲間との画像が掲載されているものが多く、そこに個人を特定できる氏名等の記述があり、さらに仲間のサイトへのリンクが掲載されているというのが典型的な形となっています。

なお、中学校3年生のサイト（694サイト）は卒業に伴い、検索対象から外したため、現在は366サイトとなっています。

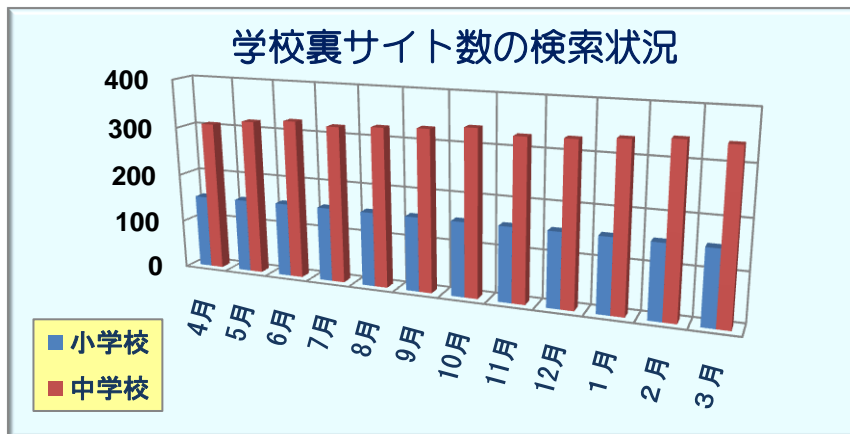


年間を通して大きな変化がなかった学校裏サイト

『学校裏サイト』は、小学校70校で152サイト（前月比±0）、中学校37校で340サイト（前月比-3）、合計で492サイト（前月比-3）となりました。年間を通して大きな変化は見られませんでした。

1, 2年前（あるいはそれ以前）に更新されて以来新しい書き込みがなく、放置状態

になっているものがほとんどですが、中学校の一部のサイトにおいては、誹謗中傷や不適切な書き込みが続いています。携帯のコミュニティサイト内に「サークル」など学校単位の裏サイトが存在したり、自己紹介サイトを団体で利用するサイトとして使っているものもありました。



フィルタリングの重要性について改めて考える

「検索」の便利さとは裏腹の危険性

フィルタリングは右図のように、特定のカテゴリ（分野、区分）に関するサイトへのアクセスを制限するものが一般的です。

フィルタリングをかけると、該当するサイトの閲覧を防ぐことができます。

アクセス制限となるカテゴリ

- ・不法（違法と思われる行為、違法と思われる薬物、不適切な薬物利用）
- ・主張（軍事・テロ・過激派、武器・兵器、誹謗・中傷、自殺・家出、主張一般）
- ・アダルト（性行為、ヌード画像、性風俗、アダルト検索・リンク集）
- ・セキュリティ（ハッキング、不正コード配布、公開プロキシ）
- ・出会い（出会い・異性紹介、結婚紹介）
- ・ギャンブル（ギャンブル一般）
- ・コミュニケーション（ウェブチャット、掲示板、IT掲示板）
- ・グロテスク
- ・成人嗜好（娯楽誌、喫煙、飲酒、アルコール製品、水着・下着・フェチ画像、文章による性的表現、コスプレ）
- ・オカルト

（株式会社KDDIのホームページより）



検索サイトは何かの言葉について知りたいときなど、私たちが日常的に使い、とても便利に感じている機能です。しかし便利な反面、あるキーワードを入力するだけで、未成年であるかどうかや、好ましい好ましくないなどの配慮なしに、すぐさま該当サイトの一覧まで目にするにもなるのです。

例えば「死体」「自殺」「安楽死」「爆弾作り」など、子どもたちがちょっとした好奇心でこれらの語の検索をかけてしまうと、不適切な情報や目を覆いたくなるようなサイトに直面する可能性が大いにあるのです。

この実態についての状況把握は難しいです。しかし、このことで子どもたちが精神的に嫌な思いをするのであれば、未然に防いであげたいと思う気持ちが湧き起こるのは当然のことと思います。

フィルタリングサービスはこのようなトラブルを未然に防ぐ役割を果たしています。

- 保護者向けの研修会に講師として指導主事を派遣しています。
- 学校裏サイトに関する相談も随時受け付けています。

連絡先 相模原市立総合学習センター学習情報班 Tel. 042-754-2577

